令和７年（２０２５年）９月１日
（公財）長野県産業振興機構
マーケティング支援部
TEL:026（227）5013
FAX:026（228）2867
E-mail：matching@nice-o.or.jp

登録受注企業経営動向調査結果

令和７年（2025 年）７月分

（公財）長野県産業振興機構

≪ 目　次 ≫

ページ

Ⅰ 調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ 調査結果の要約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ 経営動向調査集計結果

１ 受注量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

２ 受注単価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

３ 収益性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

４ 操業度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

５ 取引条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

６ 経営上の問題点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

７ 今後の対応策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

８ 回答企業の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

【資 料】

登録受注企業経営動向調査票・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅰ　調査の概要

１　目　　的

長野県内の下請中小企業の経営動向を把握し、事業を推進する上での資料とするとともに、全体の動向について情報提供を行います。

２　対　　象

当機構登録受注企業より、任意に抽出した２００企業を継続的に対象としています。

３　時　　期

令和７年７月末現在の状況について、８月に調査を行っています。

４　方　　法

往復ハガキを使用したアンケートにより調査を行っています。

５　内　　容

調査内容については、【資料】登録受注企業経営動向調査票（９ページ）をご覧ください。
なお、現在の受注量及び収益性については、３か月前と比べた状況（増加・減少）（向上・悪化）を質問しています。
調査結果については、ＤＩ方式を用いて、項目毎に動向を判断しています。

※ ＤＩ（*Diffusion Index*）：「増加」、「上昇」、「向上」とする企業の割合から、「減少」、「低下」、「悪化」とする企業の割合を引いた値

６　回収の状況

対象企業数	２００社
回答企業数	１３５社
回答率	６７．５％

７　回答した企業の構成

Ⅲの８（８ページ）のとおりです。

機構ＨＰ掲載先へ

８　調査の公表

本調査の結果は、当機構ＨＰに過去４回分と併せて掲載後、
長野県発表資料（プレスリリース）に掲載されます。

登録受注企業経営動向調査について

当機構では、工業系製造業の事業者のうち、当機構による受発注のあっ旋・紹介を受けたいと申出をされた事業者の登録を行い、受発注のあっ旋・紹介、企業情報の提供、苦情・紛争の相談、その他展示会等に関する情報の提供などを行っております。
令和７年７月末現在、登録発注企業約1,３００社、登録受注企業約1,２００社となっています。

本調査は、上記１の目的で登録受注企業を対象とし、昭和５４年以降四半期ごとに実施をしています。

Ⅱ　調査結果の要約　令和７年（2025 年）７月分

【概　況】

■ 収益性ＤＩは、前回調査（４月分）に比べて上昇しているが、受注量ＤＩは、低下している。

① 受注量ＤＩは▲２４．４となり、前回調査（▲２３．７）から０．７ポイント低下している。
内訳は、「増加した」とする企業の割合が前回調査より２．６ポイント低下し、「減少した」とする企業の割合が前回調査より１．９ポイント低下している。

② ３か月後の受注量の見通しＤＩは、▲２４．６となり、前回調査（▲２５．２）より、０．６ポイント上昇している。

③ 材料費込みの受注単価ＤＩは１８．１となり、前回調査（２１．８）より３．７ポイント低下し、加工賃のみの受注単価ＤＩは７．９となり、前回調査（１４．３）より６．４ポイント低下している。

④ 収益性のＤＩは▲２０．０となり、前回調査（▲２６．７）より６．７ポイント上昇している。

⑤ 操業度は、「８０%～６５%超」とする企業の割合が最も高く４２．４%である。
前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が０．１ポイント、「１００%～８０%超」とする企業の割合が１．６ポイント、「６５%～５０%超」とする企業の割合も０．５ポイント上昇している。
　また、今回「80%～65%超」とする企業が１．０ポイント、「５０%以下」とする企業も１．２ポイント前回調査と比べて低下している。

⑥ 経営上の問題点では、「受注量の減少」とする企業の割合が、５７．９%と最も高く、前回調査より１．０ポイント低下している。次いで「求人難」が１４．３%、「経費の上昇（材料の高騰含む）」が１０．５%の順となっている。

⑦ 今後の対応策では、「取引先の拡大」とする企業の割合が３３．６%で最も高く、前回調査と比べ３．１ポイント低下している。
次いで「人材の確保・養成」３１．３%、「自動化・省力化によるコストダウン」が８．２%の順となっている。



1　**受注量**：ＤＩは▲２４．４（3か月後の見通し▲２４．６）

受注量DIは▲２４．４となり、前回調査より０．７ポイント低下している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
増　加	９．２％	１１．８％
横ばい	５７．２％	５２．７％
減　少	３３．６％	３５．５％
ＤＩ	▲２４．４	▲２３．７

3か月後の受注量見通しＤＩは▲２４．６となり、前回の予測より０．６ポイント上昇している。

	今回予測（10月見通し）	前回予測（7月見通し）
増　加	８．２％	６．６％
横ばい	５９．０％	６１．６％
減　少	３２．８％	３１．８％
ＤＩ	▲２４．６	▲２５．２

2　**受注単価**：ＤＩは１８．１（材料費込み）、７．９（加工費のみ）

（１）　材料費込みの受注単価

受注単価ＤＩ（材料費込み）は、１８．１となり、前回調査との比較では、３．７ポイント低下している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
値上りした	２２．８％	２３．２％
変わらない	７２．５％	７５．４％
引下げられた	４．７％	１．４％
ＤＩ	１８．１	２１．８

（２）　加工費のみの受注単価

受注単価ＤＩ（加工費のみ）は７．９となり、前回調査との比較では、６．４ポイント低下している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
値上りした	１３．５％	１６．４％
変わらない	８０．９％	８１．５％
引下げられた	５．６％	２．１％
ＤＩ	７．９	１４．３

3　**収益性**：ＤＩは　▲２０．０

収益性DIは▲２０．０となり、前回調査との比較では６．７ポイント上昇している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
向上した	１３．３％	１２．０％
変わらない	５３．４％	４９．３％
悪化した	３３．３％	３８．７％
ＤＩ	▲２０．０	▲２６．７

４　操業度

操業度は、「８０%～６５%超」とする企業の割合が最も高く４２．４%である。

前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が0．１ポイント、「１００%～８０%超」とする企業の割合が１．６ポイント、「６５%～５０%超」とする企業の割合も0．５ポイント上昇している。

また、今回「80%～65%超」とする企業が１．０ポイント、「５０%以下」とする企業も１．２ポイント前回調査と比べて低下している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
100%超	６．１%	６．０%
100%～80%超	３５．６%	３４．０%
80%～65%超	４２．４%	４３．４%
65%～50%超	９．８%	９．３%
50%以下	６．１%	７．３%

５　取引条件

親企業の下請代金の支払方法は、「現金と手形の併用」とする企業の割合が５５．２%と最も高く、次いで「全額現金」「全額手形」の順となっている。

また、手形のサイトは、「９１日以上１２０日以内」とする企業の割合が５２．４%と最も高くなっている。

６　経営上の問題点

「受注量の減少」とする企業の割合が、５７．９%と最も高く、前回調査より１．０ポイント低下している。次いで「求人難」が１４．３%、「経費の上昇（材料の高騰含む）」が１０．５%の順となっている。

	今　回（7月）	前　回（4月）
受注量の減少	５７．９%	５８．９%
求人難	１４．３%	１２．６%
経費の上昇（材料の高騰含む）	１０．５%	９．９%
人件費の上昇	６．８%	６．６%
経営者の高年齢又は後継者難	１．５%	３．３%
その他	９．０%	８．７%

７　今後の対応策

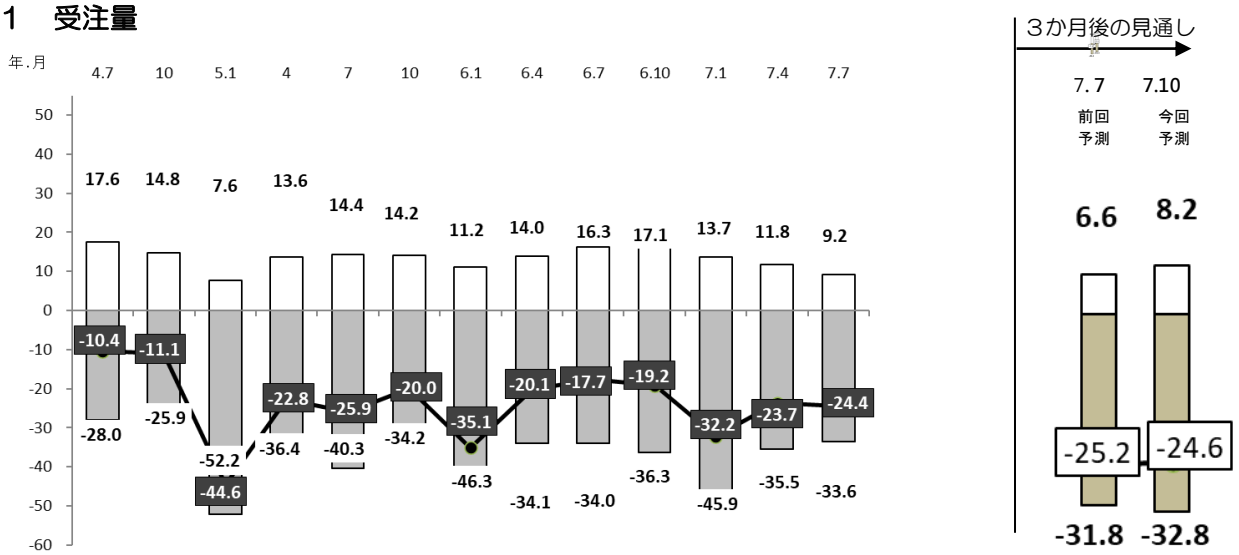
「取引先の拡大」とする企業の割合が３３．６%と最も高く、前回調査と比べ３．１ポイント低下している。次いで「人材の確保・養成」３１．３%、「自動化・省力化によるコストダウン」が8．２%の順となっている。

	今　回（7月）	前　回（4月）
取引先の拡大	３３．６%	３６．７%
人材の確保・養成	３１．３%	３４．０%
自動化・省力化によるコストダウン	８．２%	６．７%
品質向上等による高付加価値化	４．５%	２．０%
自社製品への取組み強化	３．７%	４．０%
多品種少量生産への対応	３．０%	１．３%
その他	１５．７%	１５．３%

Ⅲ　経営動向調査集計結果（令和７年度・第２回分）

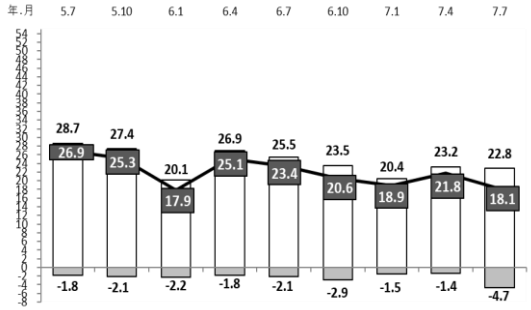
（注） 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（ＤＩ）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いたものです。
４～８の構成比については、項目毎に小数第２位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

１　受注量

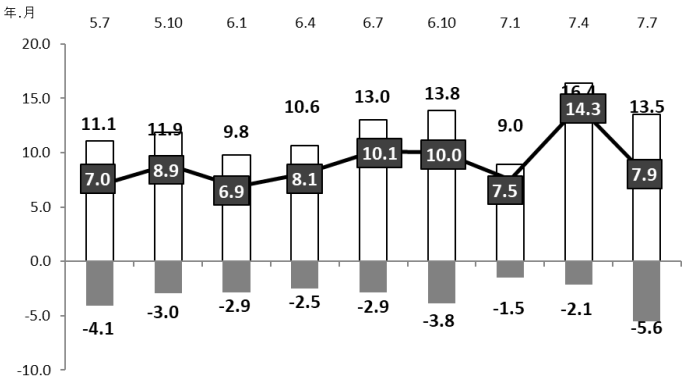


２　受注単価

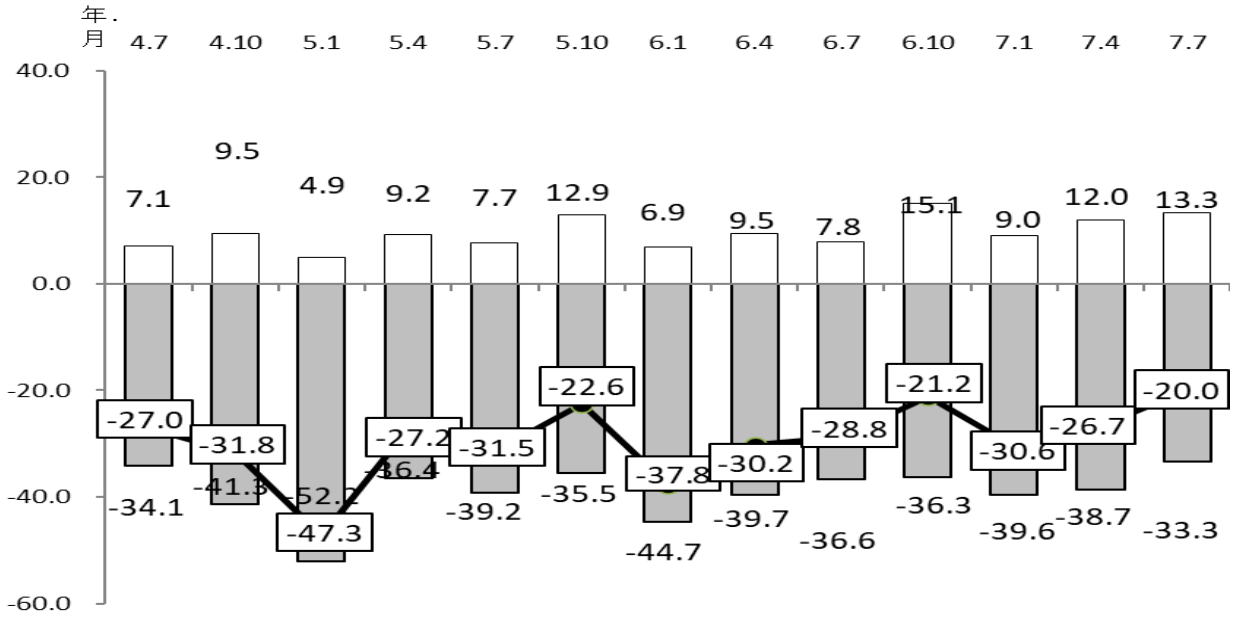
（１）材料費込みの受注単価



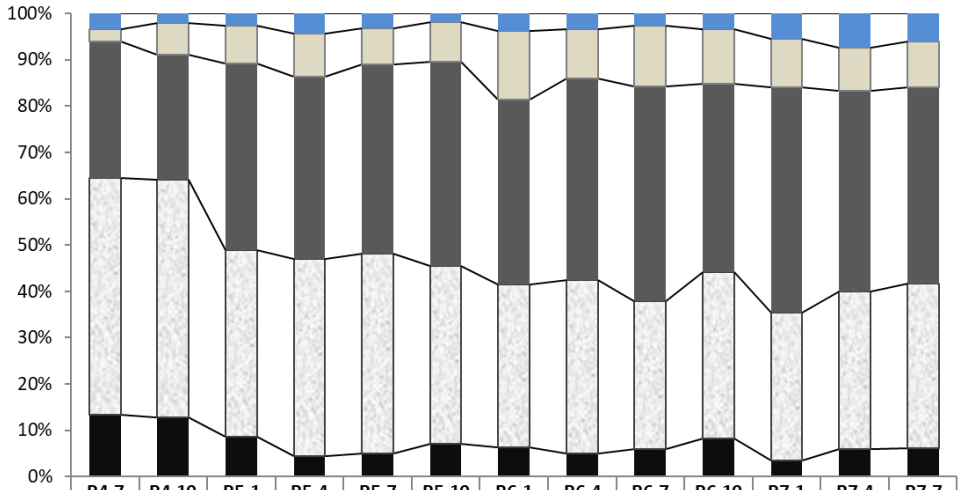
（２） 加工費のみの受注単価



３　収益性



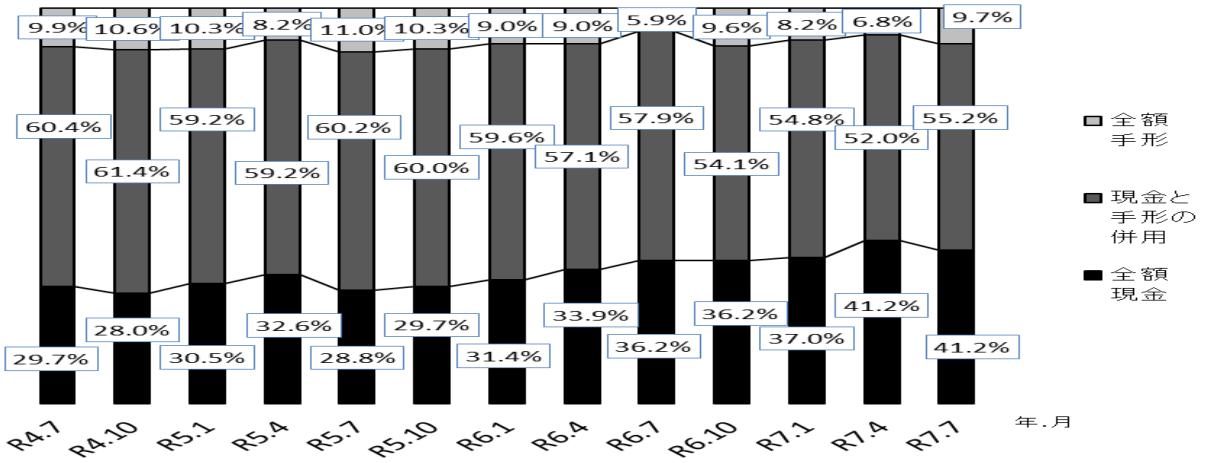
４　操業度



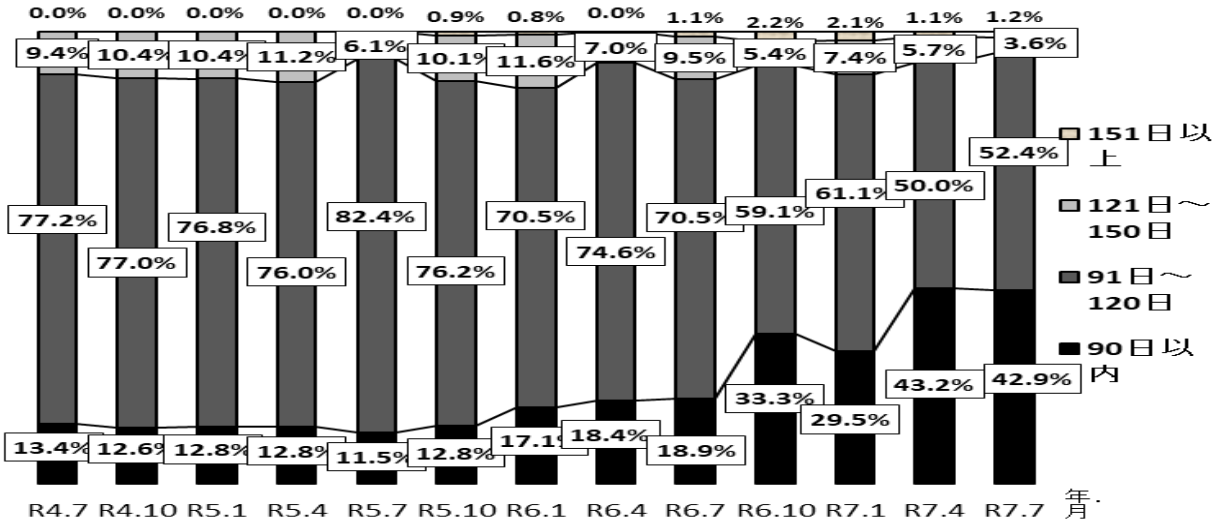
	R4.7	R4.10	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7
■50%以下	3.3%	2.1%	2.7%	4.4%	3.3%	1.9%	3.7%	3.4%	2.6%	3.4%	5.6%	7.3%	6.1%
□65%～50%超	2.8%	6.9%	8.2%	9.3%	7.7%	8.4%	14.9%	10.7%	13.1%	11.7%	10.4%	9.3%	9.8%
■80%～65%超	29.5%	27.0%	40.2%	39.3%	40.9%	44.3%	39.9%	43.5%	46.4%	40.7%	48.6%	43.4%	42.4%
□100%～80%超	51.1%	51.3%	40.2%	42.6%	43.1%	38.3%	35.1%	37.3%	32.0%	35.9%	31.9%	34.0%	35.6%
■100%超	13.3%	12.7%	8.7%	4.4%	5.0%	7.1%	6.4%	5.1%	5.9%	8.3%	3.5%	6.0%	6.1%

５　取引条件

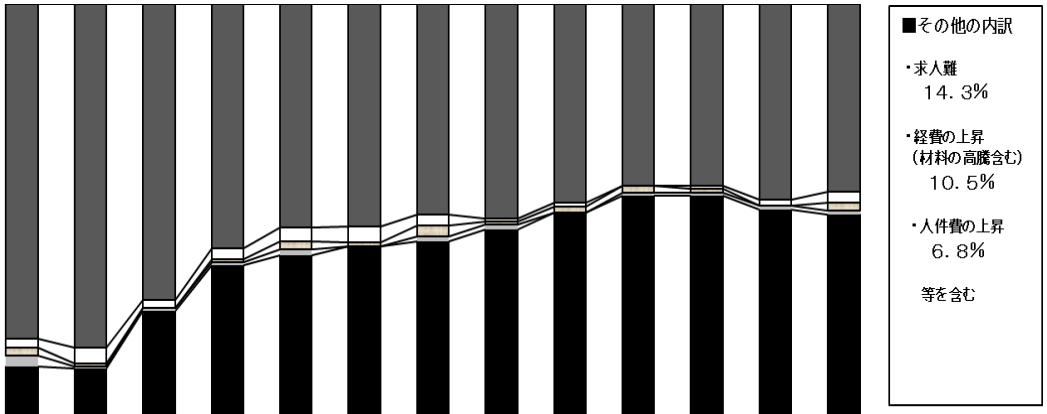
（１）親企業の下請代金の支払方法



（２）手形サイト

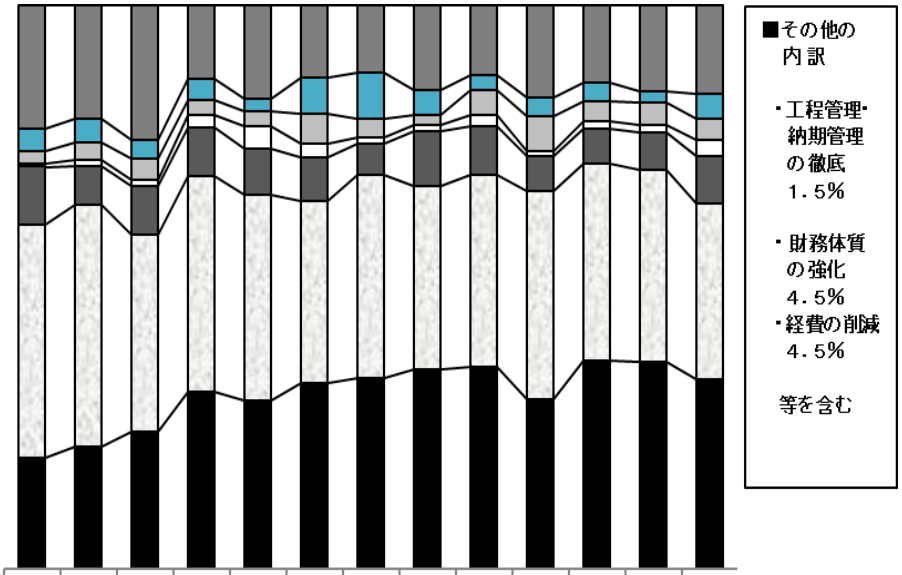


６　経営上の問題点



	R4.7	R4.10	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7
■その他	67.1%	68.8%	59.3%	49.0%	44.7%	44.6%	42.0%	42.9%	39.8%	36.3%	36.3%	39.1%	37.5%
□小ロット・短納期	1.6%	3.2%	1.6%	2.2%	2.8%	3.2%	2.2%	0.6%	0.7%	0.0%	0.7%	1.3%	2.3%
□コストダウン・高品質化	1.6%	0.5%	0.0%	0.5%	1.7%	0.6%	2.2%	0.6%	1.3%	1.4%	0.7%	0.0%	1.5%
■単価の引下げ	2.2%	0.5%	0.5%	0.5%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%
■受注量の減少	27.5%	27.0%	38.6%	47.8%	49.7%	51.6%	52.5%	54.8%	58.2%	61.6%	61.6%	58.9%	57.9%

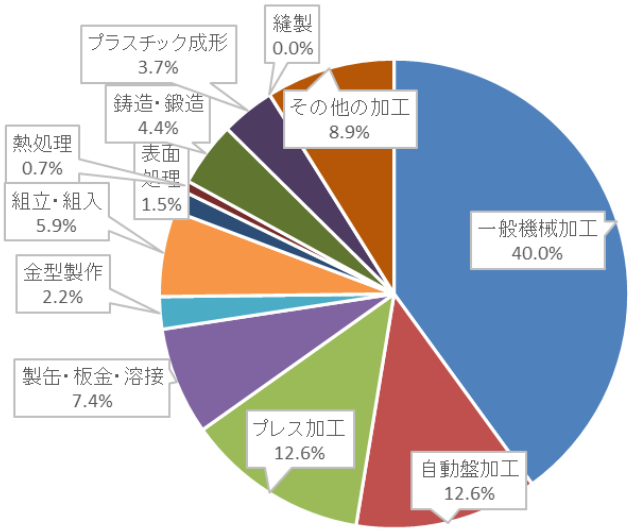
７　今後の対応策



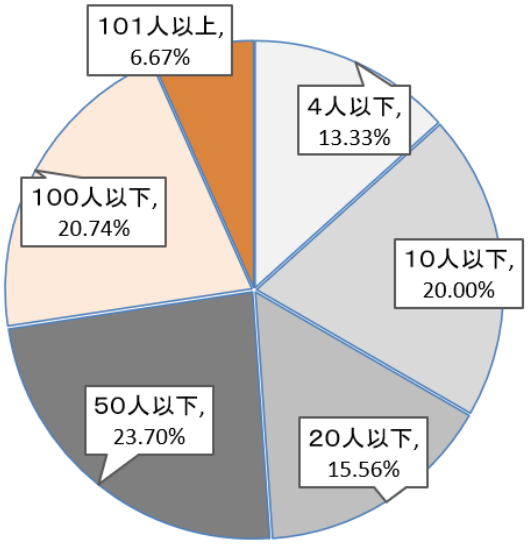
	R4.7	R4.10	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7
■その他	22.0%	20.1%	23.9%	13.0%	16.6%	12.9%	12.0%	15.1%	12.4%	16.4%	13.7%	15.3%	15.7%
□品質向上等による高付加価値化	3.8%	4.2%	3.3%	3.8%	2.2%	6.5%	8.2%	4.5%	2.6%	3.4%	3.4%	2.0%	4.5%
□自社製品への取組み強化	2.2%	3.2%	3.8%	2.7%	2.8%	5.2%	3.3%	1.7%	4.6%	6.2%	3.4%	4.0%	3.7%
□多品種少量生産への対応	0.5%	1.1%	1.1%	2.2%	3.9%	2.6%	1.1%	1.1%	2.0%	0.7%	1.4%	1.3%	3.0%
■自動化・省力化によるコストダウン	10.4%	6.9%	8.7%	8.7%	8.3%	7.7%	5.5%	9.6%	8.5%	6.2%	6.2%	6.7%	8.2%
□人材確保・養成	41.2%	42.9%	34.8%	38.0%	36.5%	32.3%	36.1%	32.6%	34.0%	37.0%	34.9%	34.0%	31.3%
■取引先の拡大	19.8%	21.7%	24.5%	31.5%	29.8%	32.9%	33.9%	35.4%	35.9%	30.1%	37.0%	36.7%	33.6%

８　回答企業の構成

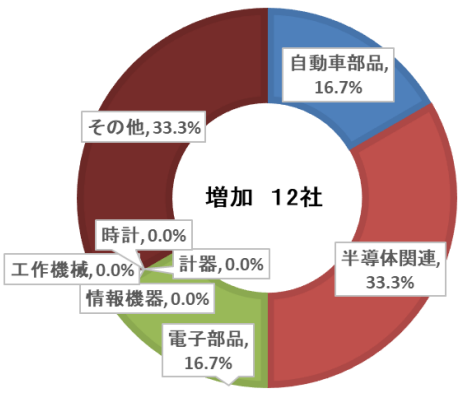
（１）加工別の構成

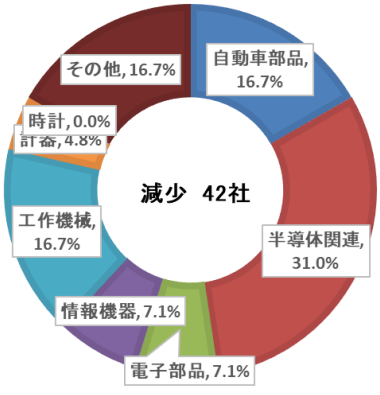


（２）従業員規模別の構成



（３）受注量に変化があった製品





登録受注企業経営動向調査票　令和７年度・第２回

（令和７年７月末現在）

◎記入上の御注意

下記の設問について、各々１つだけ〇印を付けて下さい。

※印の設問については「受注依存度の最も高い取引先企業を対象」として御記入下さい。

問１	現在の受注量は３ヶ月前に比べ		a.増　加　b.横ばい　c.減　少
	受注量の変化のあった（上の設問で「a.増加」か「c.減少」を選んだ）関連業種は何ですか。 １つだけ〇印をつけてください		a.自動車部品　b.半導体関連　c.電子部品 d.情報機器　e.工作機械　f.計器 g.時計　h.その他(　　)
問２	今後の受注量の見通しは（３ヶ月後）		a.増　加　b.横ばい　c.減　少
※問３	受注単価は、３ヶ月前に比べ	1 材料費込の場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
		2. 加工費のみの場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
問４	現在の操業度は生産能力に比べ		a.１００%超　b.１００～８０%超　c.８０～６５%超 d.６５～５０%超　e.５０%以下(　　%)
問５	収益性は３ヶ月前に比べ		a.向　上　b.変わらない　c.悪　化
※問６	親企業の下請代金の支払方法		a.全額現金　b.現金と手形の併用　c.全額手形
※問７	前問でb、cと回答した場合その手形サイトは		a.９０日以内　b.９１～１２０日　c.１２１～１５０日 d.１５１～１８０日　e.１８０日以上
問８	企業経営上、現在最も問題となっていることは何ですか。 １つだけ〇印をつけて下さい。		a.受注量の減少　b.単価の引き下げ c.求人難　d.長時間労働 e.小ロット・短納期　f.コストダウン・高品質化 g.人件費の上昇　h.経費の上昇(材料の高騰含む) i.経営者の高年齢又は後継者難 j.機械設備の棟腐化 k.資金繰り　l.その他(　　)
問９	今後の経営の方向について貴社としてどのような対応が必要とお考えですか。 重要とおもわれるもの１つだけ〇印をつけて下さい。		a.人材確保・養成　b.取引先の拡大 c.労働時間の短縮　d.自動化・省力化によるｺｽﾄﾀﾞｳﾝ e.福利厚生制度・施設の充実 f.多品種少量生産への対応 g.品質向上等による高付価値化 h.工程管理・納期管理の徹底 i.財務体質の強化　j.自社製品への取組み強化 k.経費節減　l.その他(　　)

ご協力ありがとうございました。

貴社の従業員数	イ.１～４人　ロ.５～１０人　ハ.１１～２０人 ニ.２１～５０人　ホ.５１～１００人　ヘ.１０１人以上		
最もウェイトの高い加工	a.一般機械加工	b.自動盤加工	c.プレス加工
	d.製缶・板金・溶接	e.金型製作	f.組立・組入
	g.表面処理	h.熱処理	i.鋳造・鍛造
	j.プラスチック成形	k.縫製	l.その他の加工